



平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 神鋼鋼線工業株式会社
代表者名 取締役社長 藤 井 晃 二
(コード番号 5660 東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務本部長兼同総務部長兼
企画部長
吉 田 裕 彦
(T E L 06-6411-1051)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 2 月 8 日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 25 年 2 月 7 日付「平成 25 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小南 孝教
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長兼総務部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06(6411)1051
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,357	△2.7	675	△36.3	604	△34.8	345	△4.3
24年3月期第3四半期	20,926	△2.5	1,060	△17.8	927	△20.9	361	△11.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 411百万円(△8.4%) 24年3月期第3四半期 448百万円(6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	6.63	—
24年3月期第3四半期	6.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	44,308	18,866	35.1
24年3月期	42,467	18,783	36.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,565百万円 24年3月期 15,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
25年3月期	—	2.00	—		
25年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,550	△0.8	1,050	△35.2	910	△36.2	520	△4.5	9.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	58,698,864株	24年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	6,615,580株	24年3月期	6,607,510株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	52,087,565株	24年3月期3Q	52,098,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の後の景気低迷から緩やかな回復基調となりましたが、円高や欧州債務危機問題の長期化、電力供給不足の不安など、依然不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では期待したほどの伸びは見られず、民間需要分野では依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況におきまして、当社グループでは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりましたが、民需関連分野向けが低調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,357百万円と前年同期に比べ2.7%の減収となり、営業利益は675百万円（前年同期比36.3%減少）、経常利益は604百万円（前年同期比34.8%減少）となりました。また法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は345百万円（前年同期比4.3%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品) 公共事業関連では、工事入札は前年度並みとなりましたが、発注物件の大型化などで工事開始までに時間を要することから前年度より減少しました。そのような中で営業強化によってシェアアップを図り、前年同期比では販売数量・売上金額ともほぼ横ばいで推移しました。一方、民需関連ではマンション需要で人手不足から工事着工が遅れたこと、前年度にプロジェクト物件が多かったことなどから販売数量・売上金額とも減少しました。

全体としてはプロジェクト物件の端境期となった上、公共事業関連の工事開始までの長期化影響により販売数量、売上金額とも前年同期比減少となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車産業向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）等は、エコカー補助金の追い風もあり堅調に推移しておりましたが、下期に入り中国の日系自動車の減産影響を受けました。ばね用ニッケルめっき鋼線は、新興国向けの需要が一部増加しましたが、欧州経済の動向に伴ったOA関連製品の生産・在庫調整や為替の影響を受け、前年同期に比べて販売数量・売上金額とも減少しました。ステンレス鋼線は、震災復興需要が明確化されず先送り状態であったことや外国材の更なる低価格攻勢等により、厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は10,066百万円と前年同期に比べ4.2%減少となり、営業利益は355百万円と前年同期に比べ29.7%減少となりました。

<鋼索関連事業>

国内総需要が前年同期に比べて減少となるなかで、国内向け販売数量・売上金額とも減少しました。また、輸出につきましては、低調であった前年同期より販売数量・売上金額とも増加しましたが、主要市場である中国向けが日中関係の影響を受け低調に推移いたしました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は8,737百万円と前年同期に比べ4.4%減少となり、営業利益は181百万円と前年同期に比べ66.7%減少となりました。

<エンジニアリング関連事業>

吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けが減少しましたが、建築向けは民需分野で好調であったため、売上金額は前年同期に比べ増加しました。落橋防止ケーブルは前年同期と同程度でしたが、道路騒音防止関連製品は売上減少となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は1,507百万円と前年同期に比べ22.8%増加となり、営業利益は105百万円（前年同期は23百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高は46百万円と前年同期に比べ0.4%増加となり、営業利益は33百万円と前年同期に比べ2.3%減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、1,841百万円増加の44,308百万円となりました。これは主として現金及び預金が増加したことによるものです。

負債は、1,758百万円増加の25,442百万円となりました。これは主として借入金が増加したことによるものです。

純資産は、82百万円増加の18,866百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は35.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、前回公表(平成24年11月7日)いたしまし業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,849	7,669
受取手形及び売掛金	<u>10,533</u>	9,692
商品及び製品	3,900	3,990
仕掛品	<u>2,260</u>	2,648
原材料及び貯蔵品	1,606	1,682
繰延税金資産	324	210
その他	<u>533</u>	<u>611</u>
貸倒引当金	<u>△169</u>	<u>△52</u>
流動資産合計	<u>24,838</u>	<u>26,452</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>4,406</u>	4,293
機械装置及び運搬具（純額）	4,335	4,300
工具、器具及び備品（純額）	162	161
土地	6,051	6,051
リース資産（純額）	40	51
建設仮勘定	199	158
有形固定資産合計	<u>15,195</u>	15,017
無形固定資産	247	242
投資その他の資産		
投資有価証券	486	879
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	<u>918</u>	<u>929</u>
その他	1,001	996
貸倒引当金	<u>△221</u>	<u>△209</u>
投資その他の資産合計	<u>2,185</u>	<u>2,596</u>
固定資産合計	<u>17,628</u>	<u>17,855</u>
資産合計	<u>42,467</u>	<u>44,308</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	2,580
短期借入金	8,015	6,941
リース債務	19	21
未払費用	1,364	1,130
未払法人税等	434	36
賞与引当金	531	222
環境対策引当金	43	—
その他	508	554
流動負債合計	<u>14,036</u>	<u>11,488</u>
固定負債		
長期借入金	6,284	10,522
リース債務	24	33
退職給付引当金	2,189	2,297
役員退職慰労引当金	49	54
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	487
負ののれん	92	46
その他	509	504
固定負債合計	<u>9,647</u>	<u>13,954</u>
負債合計	<u>23,683</u>	<u>25,442</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,333	2,418
自己株式	△1,351	△1,352
株主資本合計	<u>15,399</u>	<u>15,483</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	81
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	<u>53</u>	<u>81</u>
少数株主持分	3,331	3,301
純資産合計	<u>18,783</u>	<u>18,866</u>
負債純資産合計	<u>42,467</u>	<u>44,308</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	20,926	<u>20,357</u>
売上原価	16,625	<u>16,443</u>
売上総利益	4,300	<u>3,914</u>
販売費及び一般管理費	3,240	<u>3,238</u>
営業利益	1,060	<u>675</u>
営業外収益		
受取利息	39	36
受取配当金	10	11
負ののれん償却額	46	46
固定資産賃貸料	35	36
その他	7	50
営業外収益合計	138	181
営業外費用		
支払利息	128	132
その他	142	119
営業外費用合計	271	252
経常利益	927	<u>604</u>
税金等調整前四半期純利益	927	<u>604</u>
法人税、住民税及び事業税	167	134
法人税等調整額	263	85
法人税等合計	430	220
少数株主損益調整前四半期純利益	497	384
少数株主利益	136	38
四半期純利益	<u>361</u>	<u>345</u>

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	497	384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	26
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△48	26
四半期包括利益	448	411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315	373
少数株主に係る四半期包括利益	133	37

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,511	9,141	1,227	20,880	45	20,926	—	20,926
セグメント間の内部売上 高又は振替高	540	140	2	683	—	683	△683	—
計	11,052	9,281	1,229	21,563	45	21,609	△683	20,926
セグメント損益	505	543	△23	1,026	34	1,060	—	1,060

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,066	8,737	1,507	20,311	46	20,357	—	20,357
セグメント間の内部売上 高又は振替高	839	135	1	976	—	976	△976	—
計	10,905	8,873	1,509	21,287	46	21,334	△976	20,357
セグメント利益	355	181	105	642	33	675	—	675

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕 (連結)

平成25年2月7日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5660 URL http://www.shinko-wire.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小南 孝教
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長兼総務部長 (氏名) 藤森 直樹 (TEL) 06(6411)1051
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	20,366	△2.7	678	△36.0	601	△35.1	341	10.8
24年3月期第3四半期	20,926	△2.5	1,060	△17.8	927	△20.9	308	△5.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 407百万円 (2.9%) 24年3月期第3四半期 395百万円 (△5.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	6.55	—
24年3月期第3四半期	5.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	44,542	19,099	35.5
24年3月期	42,685	19,021	36.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,798百万円 24年3月期 15,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
25年3月期	—	2.00	—		
25年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,550	△0.8	1,050	△35.2	910	△36.2	520	△4.5	9.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	58,698,864株	24年3月期	58,698,864株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	6,615,580株	24年3月期	6,607,510株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	52,087,565株	24年3月期3Q	52,098,952株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の後の景気低迷から緩やかな回復基調となりましたが、円高や欧州債務危機問題の長期化、電力供給不足の不安など、依然不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では期待したほどの伸びは見られず、民間需要分野では依然として厳しい状況で推移しました。

このような状況におきまして、当社グループでは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりましたが、民需関連分野向けが低調に推移し、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,366百万円と前年同期に比べ2.7%の減収となり、営業利益は678百万円（前年同期比36.0%減少）、経常利益は601百万円（前年同期比35.1%減少）となりました。また法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は341百万円（前年同期比10.8%増加）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(PC関連製品) 公共事業関連では、工事入札は前年度並みとなりましたが、発注物件の大型化などで工事開始までに時間を要することから前年度より減少しました。そのような中で営業強化によってシェアアップを図り、前年同期比では販売数量・売上金額ともほぼ横ばいで推移しました。一方、民需関連ではマンション需要で人手不足から工事着工が遅れたこと、前年度にプロジェクト物件が多かったことなどから販売数量・売上金額とも減少しました。

全体としてはプロジェクト物件の端境期となった上、公共事業関連の工事開始までの長期化影響により販売数量、売上金額とも前年同期比減少となりました。

(ばね・特殊線関連製品) 自動車産業向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）等は、エコカー補助金の追い風もあり堅調に推移しておりましたが、下期に入り中国の日系自動車の減産影響を受けました。ばね用ニッケルめっき鋼線は、新興国向けの需要が一部増加しましたが、欧州経済の動向に伴ったOA関連製品の生産・在庫調整や為替の影響を受け、前年同期に比べて販売数量・売上金額とも減少しました。ステンレス鋼線は、震災復興需要が明確化されず先送り状態であったことや外国材の更なる低価格攻勢等により、厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は10,075百万円と前年同期に比べ4.2%減少となり、営業利益は362百万円と前年同期に比べ28.3%減少となりました。

<鋼索関連事業>

国内総需要が前年同期に比べて減少となるなかで、国内向け販売数量・売上金額とも減少しました。また、輸出につきましては、低調であった前年同期より販売数量・売上金額とも増加しましたが、主要市場である中国向けが日中関係の影響を受け低調に推移いたしました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は8,737百万円と前年同期に比べ4.4%減少となり、営業利益は179百万円と前年同期に比べ66.9%減少となりました。

<エンジニアリング関連事業>

吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けが減少しましたが、建築向けは民需分野で好調であったため、売上金額は前年同期に比べ増加しました。落橋防止ケーブルは前年同期と同程度でしたが、道路騒音防止関連製品は売上減少となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は1,507百万円と前年同期に比べ22.8%増加となり、営業利益は103百万円（前年同期は23百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高は46百万円と前年同期に比べ0.4%増加となり、営業利益は33百万円と前年同期に比べ2.3%減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。
総資産は、1,856百万円増加の44,542百万円となりました。これは主として現金及び預金が増加したことによるものです。

負債は、1,777百万円増加の25,442百万円となりました。これは主として借入金が増加したことによるものです。

純資産は、78百万円増加の19,099百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は35.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、前回公表(平成24年11月7日)いたしまし業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,849	7,669
受取手形及び売掛金	<u>10,524</u>	9,692
商品及び製品	3,900	3,990
仕掛品	<u>2,259</u>	2,648
原材料及び貯蔵品	1,606	1,682
繰延税金資産	324	210
その他	<u>394</u>	<u>472</u>
貸倒引当金	<u>△169</u>	<u>△52</u>
流動資産合計	<u>24,689</u>	<u>26,313</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>4,404</u>	4,293
機械装置及び運搬具（純額）	4,335	4,300
工具、器具及び備品（純額）	162	161
土地	6,051	6,051
リース資産（純額）	40	51
建設仮勘定	199	158
有形固定資産合計	<u>15,193</u>	15,017
無形固定資産	247	242
投資その他の資産		
投資有価証券	486	879
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	<u>1,287</u>	<u>1,302</u>
その他	1,001	996
貸倒引当金	<u>△221</u>	<u>△209</u>
投資その他の資産合計	<u>2,555</u>	<u>2,969</u>
固定資産合計	<u>17,996</u>	<u>18,228</u>
資産合計	<u>42,685</u>	<u>44,542</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118	2,580
短期借入金	8,015	6,941
リース債務	19	21
未払費用	1,364	1,130
未払法人税等	430	36
賞与引当金	531	222
環境対策引当金	43	—
その他	502	554
流動負債合計	<u>14,026</u>	<u>11,488</u>
固定負債		
長期借入金	6,284	10,522
リース債務	24	33
退職給付引当金	2,189	2,297
役員退職慰労引当金	40	54
環境対策引当金	8	8
繰延税金負債	489	487
負ののれん	92	46
その他	509	504
固定負債合計	<u>9,638</u>	<u>13,954</u>
負債合計	<u>23,664</u>	<u>25,442</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,571	2,652
自己株式	△1,351	△1,352
株主資本合計	<u>15,636</u>	<u>15,717</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	81
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	<u>53</u>	<u>81</u>
少数株主持分	3,331	3,301
純資産合計	<u>19,021</u>	<u>19,099</u>
負債純資産合計	<u>42,685</u>	<u>44,542</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	20,926	<u>20,366</u>
売上原価	16,625	<u>16,442</u>
売上総利益	4,300	<u>3,924</u>
販売費及び一般管理費	3,240	<u>3,245</u>
営業利益	1,060	<u>678</u>
営業外収益		
受取利息	39	36
受取配当金	10	11
負ののれん償却額	46	46
固定資産賃貸料	35	36
その他	7	50
営業外収益合計	138	181
営業外費用		
支払利息	128	132
その他	142	<u>125</u>
営業外費用合計	271	<u>258</u>
経常利益	927	<u>601</u>
税金等調整前四半期純利益	927	<u>601</u>
法人税、住民税及び事業税	167	<u>138</u>
法人税等調整額	<u>316</u>	<u>82</u>
法人税等合計	<u>483</u>	<u>221</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>444</u>	<u>380</u>
少数株主利益	136	38
四半期純利益	<u>308</u>	<u>341</u>

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	444	380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	26
為替換算調整勘定	△0	0
その他の包括利益合計	△48	26
四半期包括利益	395	407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262	369
少数株主に係る四半期包括利益	133	37

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

1 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,511	9,141	1,227	20,880	45	20,926	—	20,926
セグメント間の内部売上 高又は振替高	540	140	2	683	—	683	△683	—
計	11,052	9,281	1,229	21,563	45	21,609	△683	20,926
セグメント損益	505	543	△23	1,026	34	1,060	—	1,060

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,075	8,737	1,507	20,320	46	20,366	—	20,366
セグメント間の内部売上 高又は振替高	839	135	1	976	—	976	△976	—
計	10,914	8,873	1,509	21,296	46	21,343	△976	20,366
セグメント利益	362	179	103	645	33	678	—	678

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。